

| 適用規格 | | IEC 61076-3-124 | | | | |
|---|-----------------|---|-----------|---|---|----------|
| △ 定 格 | 使用温度範囲 | -40°C ~ +85°C (RH95% MAX 注1, 2) | | 保存温度範囲 | -30°C ~ +60°C (RH95% MAX 注1) | |
| | 電 圧 | AC 50V / DC 60V | | 電 流 | 1.5 A/pin(全端子) 3 A/pin (端子No.1, 2, 6, 7のみ使用) | |
| 性 能 | | | | | | |
| | 項 目 | 試 験 方 法 | | 規 格 | QT | AT |
| 構造 | 外観, 構造, 仕上げ | 目視, 寸法測定器にて測定する。 | | 図面と合致していること。 | ○ | ○ |
| | 表示 | 目視にて確認する。 | | 図面と合致していること。 | ○ | ○ |
| 電 氣 的 性 能 | 接触抵抗 | 100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。 △ | | 信号 : 30 mΩ 以下 (注3) シールド : 100 mΩ 以下 (注3) | ○ | — |
| | 絶縁抵抗 | DC 500 V で測定する。 | | 500 MΩ 以上 | ○ | — |
| | 耐電圧 | DC 500 V 1分間印加。(漏洩電流 2 mA 以下) | | せん絡・絶縁破壊がないこと。 | ○ | — |
| | 挿入損失 (IL) | 1~ 500 MHz にて測定する。 | | 0.02√(f) dB 以下 (値が0.1dB以下の場合は0.1dBとする) | ○ | — |
| | 反射損失 (RL) | 1~ 500 MHz にて測定する。 | | 68 - 20 log(f) dB 以上 (値が30 dB 以上の場合は30 dB とする) | ○ | — |
| | 近端漏話 (NEXT) | 1~ 500 MHzで測定する。 | | 94 - 20 log(f) dB 以上 (1 MHz~250MHz) 46.04 - 30 log(f/250) dB 以上 (250 MHz~500MHz) (値が75 dB 以上の場合は75 dB とする) | ○ | — |
| | 遠端漏話 (FEXT) | 1~ 500 MHzで測定する。 | | 83.1 - 20 log(f) dB 以上 (値が75 dB 以上の場合は75 dB とする) | ○ | — |
| | 横方向変換損 (TCL) | 1~ 500 MHzで測定する。 | | 68 - 20 log(f) dB 以上 (値が50 dB 以上の場合は50 dB とする) | ○ | — |
| | 横方向伝達変換損 (TCTL) | 1~ 500 MHzで測定する。 | | 68 - 20 log(f) dB 以上 (値が50 dB 以上の場合は50 dB とする) | ○ | — |
| 機 械 的 性 能 | 総合挿抜力 | 挿抜速度 : 50 mm/min 以下 適合コネクタで測定する。 | | 差込力 25 N 以下 引抜力 25 N 以下 | ○ | — |
| | 繰り返し動作 | 5000 回 の抜き差しを行う。 挿抜速度 : 10 mm/s 以下 挿抜間隔 : 5 秒 以上 (未嵌合状態) △ | | ①接触抵抗 信号 : 80 mΩ 以下 (注3) シールド : 100 mΩ 以下 (注3) ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 | ○ | — |
| | 耐振性 | 周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.35 mm, △ 加速度 50 m/s ² , 3 軸向 各 2 時間試験する。 | | ①1 μs 以上の電氣的瞬断がないこと。 (注4) ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 | ○ | — |
| △ 注1. 結露のないこと。 注2. 使用温度範囲は通電による温度上昇も含む。 注3. ケーブルの導体抵抗は含まない。 注4. 電氣的性能については端子No3, 8を除く信号端子及びシールドに適用。 | | | | | | |
| | △の数 | 訂正記事 | 設計 | 検 図 | 年月日 | |
| △ | 16 | DIS-E-00003646 | TS. ITO | KI. KAGOTANI | 20201222 | |
| 備考 | | | | 承 認 | RI. TAKAYASU | 20170328 |
| | | | | 検 図 | KI. NAGANUMA | 20170328 |
| | | | | 担 当 | HT. SATO | 20170328 |
| 試験規格の記載のない試験方法は, IEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。 | | | | 製 図 | HT. SATO | 20170328 |
| 注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目 | | | 図 番 | SLC-129419-01-00 | | |
| HRS | 製 品 規 格 表 | | 製 品 名 | IX30G-A-10S-CV(7.0)(01) | | |
| | ヒロセ電機株式会社 | | 製 品 コ ー ド | CL0251-0020-0-01 | △ 1/3 | |

| 性 | | 能 | | |
|--------------------------|--|---|--|-----|
| 項目 | 試験方法 | 規格 | QT AT | |
| 機械的性能 | 耐微摺動摩耗性 | 加速度 490 m/s ² , 30 回/min の速度で 1000 回加える。 △5 | ①1 μs 以上の電氣的瞬断がないこと。(注4) ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 | ○ — |
| | 耐衝撃性 | 加速度 300 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回衝撃を加える。(計18回) △5 | ①1 μs 以上の電氣的瞬断がないこと。(注4) ②接触抵抗 信号: 80 mΩ 以下 (注4) シールド: 100 mΩ 以下 (注4) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 | ○ — |
| | ロック強度 | 適合コネクタを嵌合し、嵌合軸方向に 80 N で 60 秒 引張力を加える。 | ロックのはずれ及び破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 | ○ — |
| | △5 ロック操作性 | 20回/min 以下の速度で 10000回 ロック操作を行う。 | ①総合挿抜力 差込力 25 N 以下 引抜力 25 N 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 | ○ — |
| | 基板固定強度 | 適合コネクタを嵌合した後、上下左右方向に適合コネクタケース端に 30 Nの力を 1 回 1 秒間、各方向 25 回 加える。 | 基板剥離及び破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 | ○ — |
| 環境的性能 | 温度サイクル △5 | 温度 -55 → 常温 → +85 → 常温 °C 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 分を 10 サイクル放置する。(嵌合放置) △5 | ①耐電圧: DC 500 V 1分間印加し(漏洩電流 2 mA 以下)、せん絡・絶縁破壊がないこと。 ②接触抵抗 信号: 80 mΩ 以下 (注3) シールド: 100 mΩ 以下 (注3) ③絶縁抵抗: 500 MΩ 以上(乾燥時) ④破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 | ○ — |
| | 温湿度サイクル | 温度槽(低温時): 25 °C 温度槽(高温時): 65 °C 湿度: 93 %RH 低温槽: -10 °C 上記条件に 24 時間サイクル で 10 サイクル 放置する。 (IEC 60068-2-38, test Z / AD) △5 | ①耐電圧: DC 500 V 1分間印加し(漏洩電流 2 mA 以下)、せん絡・絶縁破壊がないこと。 ②接触抵抗 信号: 80 mΩ 以下 (注3) シールド: 100 mΩ 以下 (注3) ③絶縁抵抗: 500 MΩ 以上(乾燥時) ④総合挿抜力 差込力 25 N 以下 引抜力 25 N 以下 ⑤破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 | ○ — |
| 注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目 | | 図番 | SLC-129419-01-00 | |
| HRS | 製品規格表 | 製品名 | IX30G-A-10S-CV(7.0)(01) | |
| | ヒロセ電機株式会社 | 製品コード | CL0251-0020-0-01 △5 2/3 | |

| 性 | | 能 | | |
|--------------------------|--|--|---------------------------|---|
| 項目 | 試験方法 | 規格 | QT AT | |
| 環境的 性能 | 定常状態の耐湿性 △5 温度 +40 °C, 湿度 93 %RH 中に 21 日間放置する。(嵌合放置) | △5 ①耐電圧：DC 500 V 1分間印加し(漏洩電流 2 mA 以下)、せん絡・絶縁破壊がないこと。 ②接触抵抗 信号：80 mΩ 以下 (注3) シールド：100 mΩ 以下 (注3) ③絶縁抵抗：500 MΩ 以上(乾燥時) ④総合挿抜力 差込力 25 N 以下 引抜力 25 N 以下 ⑤破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 | ○ | — |
| | 耐熱性 温度 +85 ± 2 °C 中に 21日間放置する。 △5 (嵌合放置) | △5 ①耐電圧：DC 500 V 1分間印加し(漏洩電流 2 mA 以下)、せん絡・絶縁破壊がないこと。 ②接触抵抗 信号：80 mΩ 以下 (注3) シールド：100 mΩ 以下 (注3) ③絶縁抵抗：500 MΩ 以上(乾燥時) ④総合挿抜力 差込力 25 N 以下 引抜力 25 N 以下 ⑤破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 | ○ | — |
| | 耐寒性 温度 -55 ± 3 °C 中に 10日間放置する。 △5 (嵌合放置) | △5 ①耐電圧：DC 500 V 1分間印加し(漏洩電流 2 mA 以下)、せん絡・絶縁破壊がないこと。 ②接触抵抗 信号：80 mΩ 以下 (注3) シールド：100 mΩ 以下 (注3) ③絶縁抵抗：500 MΩ 以上(乾燥時) ④総合挿抜力 差込力 25 N 以下 引抜力 25 N 以下 ⑤破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 | ○ | — |
| | 塩水噴霧 濃度 5 % の塩水、試験温度 +35 ± 2 °C 中に 48 時間放置する。(未嵌合放置) | 端子接触部にはなはだしい腐食がないこと。 | ○ | — |
| | 混合ガス試験 試験温度 +25 ± 1 °C、湿度 75 ± 3 %RH中 H ₂ S：10 ± 5 ppb, NO ₂ ：200 ± 50 ppb △5 Cl ₂ ：10 ± 5 ppb, SO ₂ ：200 ± 20 ppb に嵌合状態と未嵌合状態で、それぞれ 4 日間 放置する。 (IEC 60512, 方法4) | △5 ①接触抵抗 信号：80 mΩ 以下 (注3) シールド：100 mΩ 以下 (注3) ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 | ○ | — |
| 注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目 | | 図番 SLC-129419-01-00 | | |
| HRS | 製品規格表 | 製品名 | IX30G-A-10S-CV (7.0) (01) | |
| | ヒロセ電機株式会社 | 製品コード | CL0251-0020-0-01 △5 3/3 | |